

問 舟石川小側に 横断歩道設置を

答 設置に向け協議を進める

問 船場区自治会の石井歯科前の交差点において、以前担当課に日立市側の横断歩道が設置されていないので設置して欲しいと相談した。交差点付近に道路が隣接していることや、信号機・街路灯の位置などの障害物があり、難しいとの回答だった。しかし、国道6号方面から来る中学生は、横断歩道があれば1回で渡れるところを3回もかけて渡っている。大変不便な状況であることから、来年度の須和間踏切拡幅に合わせて交差点を改良



新政とうかい
ささじま しろしろう 議員

し、横断歩道を設置できないか。
答 横断歩道を所管する県警に確認したところ、正規の横断歩道が難しい場合でも、現地状況によっては、設置している事例がある。来年度に予定している須和間踏切の拡幅により、歩道がJ R常磐線を挟んで東西に繋がることになる。本交差点の横断歩道設置に向け、引き続き関係機関と協議していく。



横断歩道の設置されていない交差点

問 舟コミ広場の 樹木伐採の問題点

答 原子力災害発生時の一時集合場所

問 「樹木と下草は夏祭り実施時の涼のために欠かせない」また「憩いの場なので切らないで」などの住民の声が届いている。樹木伐採を含む駐車場整備の目的は。
答 広域避難計画案で原子力災害発生時の一時集合場所であり、駐車場数確保のため。
問 災害発生時、相当数の村民は「てんでんこに逃げる」と言い、駐車スペースを確保しても集合する村民は何人か。さらにバス確保や道路の混雑等、避難計画は問題山積であ



みすずの会
せいみや としこ 議員

る。これらの課題解決を後回しにして、「日よけになるし、心休まるので木を切らないでほしい」との住民の声に耳を傾けず、整備ありきの姿勢は、いかなるものか。またこれらの住民の要望は、憲法で幸福追求権として保障されるべき。

答 駐車場整備は災害時や普段利用を考慮しており、将来の住民の生活・安全確保に寄与する。整備の目的と内容等については、今後とも地元の皆様のご理解をいただきながら、丁寧に進めていく。



10月2日樹木が伐採された舟石川コミセン